

第31回

うつのみやこども賞だより

平成26年度 1回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『サクラ・タイムトラベル』

加部鈴子／著（岩崎書店）



～読んだ本の感想より～

- 清太郎の熱い思いが伝わってくるととても感動する本だった。志保と龍之介の、熱心な気持ちが伝わってきて、本に入りこんでしまう。
- 親や友達の大切さもこの本の中に書いていたのでまじまじと親の大切さを感じました。
- 私も時代によばれてみたいです。
- 志保たちが現代へもどっていく所が感動的だった。
- 現代で龍之介に清太郎の娘の名前が「しほ」だと聞いてびっくりした。
- 最初は初対面でありあまりしゃべらなかった龍

之介がどんどん心を開いていっていい話だと思った。

●志保が帰ってからも清太郎が志保のことを愛してくれていたと思うと切ない気持ちになりました。

『ブルースマンと小学生』

こうだゆうこ／著（学研教育出版）

- 自分の夢をあきらめないで学校へ行き、野球をするために毎日8km走るのすごいと思いました。わたしもこんな人たちに会ってみたいと思いました。
- 暴力的な小学生がいろいろな人との関わりで変わっていく所が良かった。
- 鉄平は最初は周りに迷惑をかけてばかりいたけれど、トンガラシの兄ちゃんや先生、親の支えもあり、どんどんいい人になっていったので良かったです。

『ラブ・ウール100%』井上林子／著

（フレーベル館）

- 毛糸は1本の長い糸でどこまでもつながっている。はなれている友だちとのつながりが、深いと思いました。
- 「人間、外見だけではんだんしちゃだめ、ナカミをよく見る」ということばが心にひびきました。
- だんだんアミコがかわっていくのが、うれしかったです。
- それぞれがおもしろい人がんばって編み物するところが印象に残りました。

『5年2組横山雷太、児童会長に立候補します！』

いとうみく／著（そうえん社）

- 雷太くんが児童会長に立候補して、今まで分からなかったことや、大切なものが見えてきたのがよかったです。
- 『なんでも屋』の依頼で児童会長になるのはとても、すごい依頼だなと思いました。
- 雷太のまわりの人達が、自然と明るく楽しそうになっているのを見て、雷太のもつ、そういう力はすごいと思った。かたくるしくなく、少しハチャメチャな選挙活動は、雷太らしく、いいなと思った。そんな雷太を支えてくれる仲間もたくさんいて、良いと思った。
- やろうと思えばやれることも分かったし、友達ってすごいと思った。

2014年6月1日